

評価

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

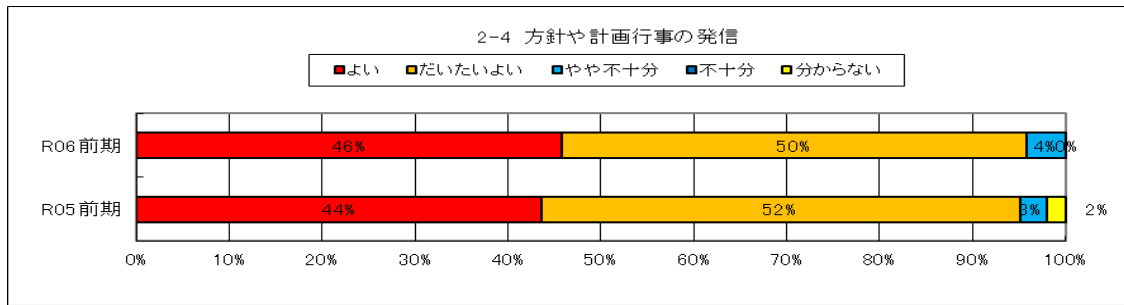
V 組織運営

学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	外部評価委員のコメント
特色ある学校づくりが計画的・組織的に推進されている。	前期	良好	良好	・保護者からの100%支持は大変素晴らしい。①職員全員が学校運営の一員という自覚のもとで各事業が行われていると感じた。②職員数が多い学校なので、学級・学年を超えたコミュニケーションを大切にして児童や保護者対応を頑張っていたきたい。③児童たちも「学校を動かしている」という思いを持たせる取り組みがすばらしい。④児童たちが、様々な取り組みによって、よりよいプライドを育てていることだろう。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期（→年度）】	<p>①学年主任会⇒学年部会を定期的に行うことで、各PJ部（指導部）の案件等を共通理解しながら、実践できている。また、各PJ部からの伝達事項は職員会議後半で行っている学団部会で伝えることにしたため、職員一人一人の各PJ部への参加意識も高まり、全体として各事業が円滑に行われている。</p> <p>②若手の職員が多くなってきているが、学年主任が先を見て計画的に学年部報を出しているため、学年全体で共通理解し同じ方向を見て進むことができている。また、学級王国をつくらず、学年担任という意識で、一人の児童に対して、学年全体で関わりをもったり、保護者対応をしったりしている。</p> <p>③委員会活動の名称を子どもたちが考えたものに変更するなど特別活動に力を入れてきた。あいさつ運動をはじめ、諸活動で6年生が張り切って全校に働きかけ、児童会活動が活性化してきている。</p> <p>④6年生がSDGsについて学び、全校児童に昼の放送などで自分達ができることを実践するように呼びかけている。5年生は「駅One」に参加する予定である。地域コーディネーター笹原さんのバックアップのおかげで、クラブや校外学習等をはじめたくさんの地域の方に協力してもらいながらふるさとキャリア学習を展開することができている。今後も、子どもたちの主体的な発想を生かしながら進めていきたい。</p> <p>⑤開校記念集では、「有浦っ子の未来を築け」のテーマのもと、全校児童で永井孝久元校長から「有浦ノベル」に込められた願いや思いを聞き、さらに4～6年生は山田和人元PTA会長から「人と上手に関わるコツ」についての講話を聞いた。母校への誇りを高める有意義な時間となった。</p> <p>〈後期の取組〉</p> <p>①1、2年生の生活科での地域を素材にした活動や、3年生以上のふるさとキャリア教育の実践を、地域や他校等にも発信していくことに力を入れたい。</p> <p>②「夢講座（5・6年）」の内容はキャリア教育の視点を取り入れ見直しを図り、より有意義なものにする。</p> <p>③来年度へ繋がる取組として、教師の専門性を生かすため、5・6年生の一部教科で交換授業による教科担任制の試行を実施する。</p>		
	【年度（→次年度）】			

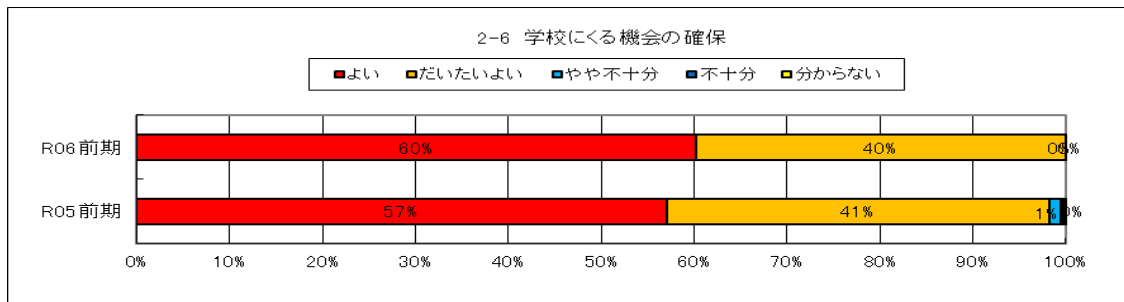
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
11 学校の明確な運営	(12)経営方針や重点施策の明示と遂行	教育目標具現のための適正な運営組織と分掌分担 PDCAサイクルを踏まえた組織的活動と学年部・指導部の連携	4	
12 教育課程の編成と実施	(13)地域や学校の実態を考慮した教育活動の推進	充実した諸活動を保障する適切な教育計画の立案と実施 夢をはぐくむふるさとキャリア教育の充実	3	

※学校教育アンケートから

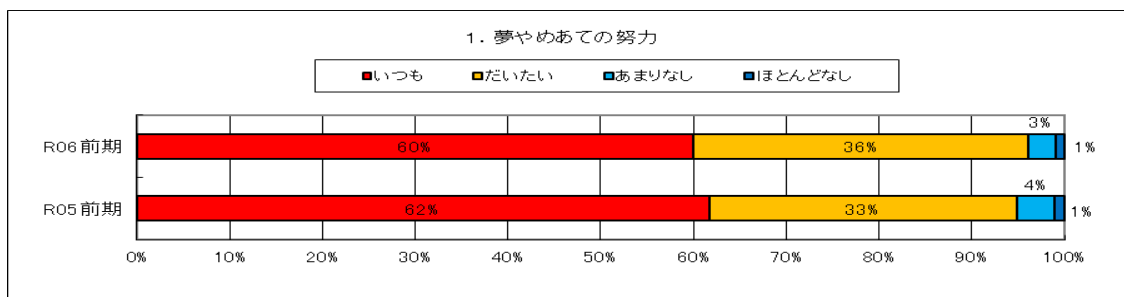
(保護者)



(保護者)



(児童)



☆ふるさとキャリア教育での取組「アクション 前へ踏み出す力 授業と地域のつながり」



【地域人材の活用 3年発明工夫講話】



【PTAでSDGsで学んできたことを発表する様子】



【開校記念集会「有浦ノベル」の大合唱の様子】

- 全校 開校記念集会
 - ・「有浦ノベル」に込められた願いや思い
 - ・人と上手に関わるコツ
- 3年生 大館市の主な施設や産業
 - ・桜櫓館、石田ローズガーデン、秋田犬会館
- 4年生 福祉体験学習～みんながくらしやすい町へ
(車椅子体験、アイマスク体験、高齢者体験)
- 5年生 大館の自然観察、自然教室(八峰町との比較)
 - ・駅oneへの参加
- 6年生 SDGs持続可能な未来へ
 - ・修学旅行先函館市でSDGsについての紹介
 - ・全校児童へできることの働きかけ
- 全校 発明工夫